

課題解決に向けた基本方針

- ・国民健康保険事業、介護保険事業などの健全運営に向けた取り組みを進めます。
- ・元気で生活できる高齢者のための健康づくりの取り組みにより、高齢者医療費の削減を図ります。
- ・保健分野と社会教育のスポーツ活動などと連携し、介護の予防につながる意識を啓発します。
- ・高齢者対策はトータルで実施していくこととし、元気な高齢者の課題は組織的連携（福祉、保健、社会教育など）で取り組みます。

具体的な施策

医療費の抑制	・各種健診制度の周知 ・特定健診受診率の向上（平成24年目標＝65％に向けた対応、メタボ対策） ・健康推進員の配置、受診券配布と制度周知 ・アンケート調査の実施、定期通院者等検査データの活用 ・レセプト点検の実施
国民健康保険税の収納率の向上	・収納体制の強化 ・嘱託徴収員の配置、全庁体制による臨戸徴収、口座振替の推進、徴収技術の向上 ・滞納処分の強化 ・マニュアル（滞納処理要領）の策定、不動産、債権等の調査及び差押え ・滞納整理機構、檜山振興局等の関係機関との連携
介護保険事業運営の健全運営	・介護給付適正化推進事業の実施 ・指導・監査の実施（実地指導の実施及び立会）
介護保険サービスの充実	・指導・監査の実施（道指定含む） ・質確保のための評価制度（全国レベル）の導入 ・介護予防事業の充実（認定者以外が受けられるサービスの充実）
介護予防の啓発	・パンフレットの作成 ・介護事業所に対する啓発 ・健康づくりによる活動と介護予防の連携による啓発

27 生涯学習（社会教育、スポーツ、文化振興、文化財保護）

現状

（社会教育）

- 平成2年にオープンした江差町文化会館は大ホール（734席）と小ホール、図書館をもち、特に大ホールは近隣住民も含めた文化芸能の鑑賞機会の場、全道及び全国レベルの大会開催の場、コンベンションホールなどに利用されています。

[表29] 文化会館の利用人数の推移（単位：人）

区 分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
大ホール	17,074	11,623	13,114	13,385	12,291	13,368	10,206
小ホール	9,017	9,653	10,931	13,015	14,129	12,744	10,432
会議室	829	604	852	968	818	801	884
合計	26,920	21,880	24,897	27,368	27,238	26,913	21,522

- 図書館は平成2年に文化会館に併設し、専用の移動図書館車も配備しました。平成9年6月には道立図書館とのネットワークが整備され、江差町図書館から道立図書館の蔵書を取り寄せることが可能になったことから、利用者に好評です。

[表30] 図書館の利用状況の推移（単位：冊、人）

	平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年	
	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数	貸出数	利用者数
図書館	31,176	12,826	30,611	12,662	30,289	12,146	31,127	12,377	30,031	11,448
移動図書館	2,697	1,097	3,167	1,144	3,266	1,224	4,170	1,674	3,601	1,494
合計	33,873	13,923	33,778	13,806	33,555	13,370	35,297	14,051	33,632	12,942

（スポーツ）

- スポーツ施設として、マリーナ施設、温水プール、総合運動公園があります。総合運動公園にはテニスコート、野球場、多目的広場、芝生広場及びサブグラウンドなどがあります。

（文化振興、文化財保護）

- 日本を代表する民謡の一つである江差追分は、戦後まもなく発足した江差追分会の地道で粘り強い活動により今日に引き継がれています。現在会員数3,700有余人を誇る江差追分会は、国内はもとより海外にも支部があり、発展と普及に寄与しています。
- 当町は北海道において歴史的文化遺産の宝庫といわれるほど有形無形の文化財に恵まれており、町指定の文化財は33件にのぼります。国指定重要文化財の旧中村家住宅をはじめ、埋蔵文化財に登録されている開陽丸遺跡、道指定有形民俗文化財の横山家、山車（松宝丸・神功山人形）、道指定の無形民俗文化財の江差追分、沖揚音頭、五勝手鹿子舞、餅つき囃子、江差三下り、道指定文化財に旧檜山爾志郡役所があり、道内神社の祭りのうち最も古いものの一つに数えられ、近世の江差文化を物語る「姥神大神宮渡御祭」は、平成13年10月北海道遺産25選に選定されました。
- ヒノキアスナロ（ヒバ）自生地である椴川ヒノキアスナロ原生林は、国の天然記念物に指定されています。

課題

(社会教育)

- 江差町文化会館については、ホールの利用率が低迷していることもあり、利用促進に努める必要があります。

(スポーツ)

- スポーツ施設の維持補修の計画的な実施、利用者数の増加、利便性向上等が課題となっています。
- 総合運動公園やマリナを活かした各種大会やスポーツ合宿の誘致が期待されていますが、宿泊施設の整備が大きな課題となっています。

(文化振興、文化財保護)

- 江差追分会の活動は江差町民の「宝」であり、今後は更にこの活動を推進する必要があります。
- 文化祭、みちくさ事業を主催する江差町文化協会の活動を充実させていく必要があります。
- 文化財の保存についての支援は継続していく必要があります。
- 旧檜山爾志郡役所については、郷土資料館として併設する古文書保存資料収蔵庫の機能を高め、更に活用を図っていくことが必要です。
- 町内には多くの郷土芸能がありますが、後継者不足から消えつつあるものもあり、その保存伝承も緊急の課題となっています。

課題解決に向けた基本方針

- ・生涯学習の成果をまちづくりに生かせるしくみや退職者の生きがいつくり、仲間づくりにつながるしくみなど、生涯学習の推進体制を充実させます。
- ・地域づくり、人づくりをめざす社会教育を推進します。
- ・健康で楽しく、さわやかに生きる生涯スポーツを充実させます。
- ・社会教育施設の整備と活動の充実を図ります。
- ・「江差追分」をはじめ地域に根ざした文化を振興し、歴史ある文化遺産を子どもたちに継承します。
- ・ふるさと江差に学ぶ「江差学」など、地域に根ざした学習を推進します。

具体的な施策

生涯学習の推進体制の確立	・多様なテーマで生涯学習に取り組むための横断的な連携体制の強化 ・新江差町教育推進計画（H23～27年）に基づくトータル的な教育の推進
生涯学習関連施設の充実、有効活用	・生涯学習関連施設の効率的な運営管理方法の検討 ・文化会館の有効活用策 ・図書館のサービス機能の充実と利用促進
社会教育の推進	・明るい未来をめざし、子ども達の夢を育む青少年教育の充実 ・活気があり、人々が支えあい安心して生きる成人教育の充実 ・子育てに喜びを感じ、成長に感動できる家庭教育の充実 ・学び続け、自らを高め、明日を拓く図書館活動の充実 ・文化を高め、心豊かに生きる文化、芸術活動の充実 ・ふるさとの自然と貴重な文化遺産を未来に伝える文化財・博物館活動の充実
生涯スポーツの推進	・スポーツ・レクリエーション活動の促進（体育団体、少年団の活動促進、活動の場の確保） ・スポーツ活動が実践できる環境整備 ・スポーツ施設を活かした大会の誘致 ・スポーツ指導者、地域リーダーの養成
郷土芸能等の伝承	・江差追分の保存伝承、後継者育成（「江差追分」の子どもたちへの継承） ・江差追分会の充実強化 ・無形民俗文化財の保存伝承
文化振興の推進	・江差文化協会事業の充実（文化祭、みちくさ事業）
ふるさと「江差」を学ぶ機会の充実	・「江差学」の推進（江差について調べたり学んだりする活動、江差検定） ・ふるさと江差発見事業（江差への関心、地元愛の醸成） ・江差の特色を生かした教育（冒険王、少年団活動支援、読み聞かせ、学校図書と連携した教育） ・シニア江差学園、郷土誌講座等の充実